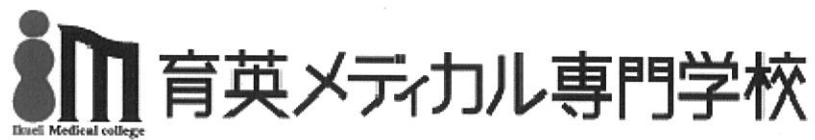


令和 7 年度



柔道整復学科 3 年

講義要項（シラバス）

講義科目名	柔道整復実技Ⅱ	分野区分	専門分野
担当教員名	黒岩 靖史(実務経験有り)	講義回数 (コマ数)	40コマ
履修学年	第 3 学 年	履修期間	通 年
講義内容	柔道整復師にとって重要となる触診実技ならびに運動器の徒手検査法実技を中心に行う。また1年次・2年次に学んだ主要な上肢外傷、下肢外傷に対する実技も行う。 臨床現場やスポーツ現場では相手の訴えを聞き、そして視診、触診を行うことが基本である。また判断指標の一つである整形外科的な徒手検査法は手技の習熟が必要であり、そのポイントを頭で理解するだけではなく手指の感触として学んでいけるように授業を行い、臨床に従事した際の評価の精度ならびに柔道整復師の業務範囲の是非の判断力を高めることを目標とする。		
評 価	筆記試験と実技試験で各期末の評価とする。 出席状況、授業態度、小テストなどは年度末の総合評価の時点で加味することがある。		
備 考	白衣は必ず着用し、実技室内へは土足で入室しないこと。 ただし、実技内容によっては脱着しやすい服装を指示することもある。 参考資料を配布するためしっかりとファイリングすること。		
参考書等	参考資料等を配布する。 全国柔道整復学校協会監修:柔道整復学(理論編)[南江堂] 全国柔道整復学校協会監修:柔道整復学(実技編)[南江堂] 全国柔道整復学校協会監修:包帯固定学[南江堂] 全国柔道整復学校協会監修:社会保障制度と柔道整復師の職業倫理[医歯薬出版]		

第 3 学 年				科 目 (柔道整備実技区)	担 当 (黒岩 靖史)	
		実技概要	コマ数	日 付	実 技 内 容	
前期	1	触診	1	4月7日	体表解剖に基づく指標の触診	
	2		4月14日	体表解剖に基づく指標の触診		
	3		4月21日	体表から触知できる動脈拍動の触診 アレンジテスト ブラッチテスト		
	4		4月28日	脊柱部の徒手検査法		
	5	臨床徒手検査法	5	5月12日	脊柱部の徒手検査法	
	6		5月19日	胸郭出口症候群の徒手検査法		
	7		5月26日	腱板損傷の徒手検査法		
	8		6月2日	上腕二頭筋長頭腱炎の徒手検査法		
	9		6月9日	肘部の徒手検査法		
	10		6月16日	前腕部・手指部の徒手検査法		
	11		6月23日	股関節部の徒手検査法		
	12		6月30日	大腿部の徒手検査法		
	13		7月7日	膝部の徒手検査法		
	14		7月14日	前期末試験(実技①)		
	15		7月28日	前期末試験(実技②)		
	16		8月4日	前期末試験(実技③)		
	17		8月18日	前期末試験(実技④)		
	18		8月25日	前期末試験(筆記)		
後期	19	解答・解説	19	9月1日	前期末試験(筆記) 解答・解説	
	20		9月8日	膝部の徒手検査法		
	21	臨床徒手検査法	21	9月22日	膝部の徒手検査法	
	22		9月29日	下腿部の徒手検査法		
	23		10月6日	足部の徒手検査法		
	24		10月13日	全身関節弛緩テスト		
	25	神経学的評価	25	10月20日	神経学的所見の確認方法(深部反射等)	
	26		10月27日	足関節捻挫		
	27	下肢外傷	27	11月10日	下腿三頭筋損傷	
	28		11月17日	膝部損傷		
	29		11月24日	膝部損傷		
	30		12月1日	大腿部損傷		
	31	後期末試験	31	12月8日	後期末試験(筆記)	
	32		12月15日	後期末試験(筆記) 解答・解説		
	33		33	1月5日	肩関節脱臼	
	34		1月19日	鎖骨骨折・肩鎖関節脱臼		
	35		1月26日	上腕骨外科頸骨折		
	36		2月2日	上腕骨骨幹部骨折		
	37		2月9日	肘関節脱臼・肘内障		
	38		2月16日	コーレス骨折		
	39		2月23日	ボクサー骨折・手PIP関節背側脱臼		
	40		3月2日	肩部軟部組織損傷		
合計コマ数			40	※日程は変更されることがあります。 ※10/13、11/24、2/23は祝日ですが、授業日となりますのでご注意ください。		

講義科目名	柔道整復実技Ⅷ	分野区分	専門分野
担当教員名	福田 泰昌(実務経験有り)	講義回数 (コマ数)	40コマ
履修学年	第 3 学 年	履修期間	通 年
講義内容	認定実技試験合格に向け、上肢・下肢の整復実技および固定について制限時間内に正確に終わることができるよう、繰り返し練習を行う。 また、口頭試問についても正確に解答できるよう、繰り返し練習を行う。 年明け以降は問題演習を中心に行う。柔道整復師に必要な知識を総合的に復習する。		
評 価	筆記試験と実技試験で評価する。 出席状況や授業態度などは年度末の総合評価の時点で加味することがある。		
備 考	実技室の使用ルールを守ること！		
参考書等	柔道整復学 理論編および実技編、包帯固定学		

第 3 学 年				科 目 (柔道整復実技Ⅳ)	担 当 (福田 泰昌)	実 技 内 容	
				実 技 概 要	コマ数	日 付	
前期	1	認定実技審査に向けた実技の復習		鎖骨骨折	1	4月7日	
	2	認定実技審査に向けた実技の復習		肩関節脱臼	2	4月14日	
	3	認定実技審査に向けた実技の復習		肩鎖関節脱臼	3	4月21日	
	4	認定実技審査に向けた実技の復習		上腕骨外科頸骨折	4	4月28日	
	5	認定実技審査に向けた実技の復習		肘関節脱臼	5	5月12日	
	6	認定実技審査に向けた実技の復習		コーレス骨折	6	5月19日	
	7	認定実技審査に向けた実技の復習		上腕二頭筋長頭腱損傷	7	5月26日	
	8	認定実技審査に向けた実技の復習		腱板損傷	8	6月2日	
	9	認定実技審査に向けた実技の復習		ボクサー骨折	9	6月9日	
	10	認定実技審査に向けた実技の復習		示指PIP関節脱臼	10	6月16日	
	11	認定実技審査に向けた実技の復習		大腿四頭筋損傷	11	6月23日	
	12	認定実技審査に向けた実技の復習		ハムストリングス損傷	12	6月30日	
	13	認定実技審査に向けた実技の復習		前十字靱帯損傷	13	7月7日	
	14	認定実技審査に向けた実技の復習		内側側副靱帯損傷	14	7月14日	
	15	認定実技審査に向けた実技の復習		半月板損傷	15	7月28日	
	16	認定実技審査に向けた実技の復習		下腿三頭筋肉ばなれ	16	8月4日	
	17	認定実技審査に向けた実技の復習		足関節捻挫	17	8月18日	
	18	前期末試験		期末試験	18	8月25日	
後期	19	解答・解説		期末試験 解答解説	19	9月1日	
	20	認定実技審査に向けた実技の復習		下腿骨幹部骨折	20	9月8日	
	21	認定実技審査に向けた実技の復習		アキレス腱断裂	21	9月22日	
	22	認定実技審査に向けた実技の復習		上肢総復習	22	9月29日	
	23	認定実技審査に向けた実技の復習		上肢総復習	23	10月6日	
	24	認定実技審査に向けた実技の復習		上肢総復習	24	10月13日	
	25	認定実技審査に向けた実技の復習		下肢総復習	25	10月20日	
	26	認定実技審査に向けた実技の復習		下肢総復習	26	10月27日	
	27	柔道整復学の総合的な復習		鎖骨骨折の復習	27	11月10日	
	28	柔道整復学の総合的な復習		肩関節脱臼の復習	28	11月17日	
	29	柔道整復学の総合的な復習		肩鎖関節脱臼の復習	29	11月24日	
	30	柔道整復学の総合的な復習		上腕骨外科頸骨折の復習	30	12月1日	
	31	後期末試験		期末試験	31	12月8日	
	32	解答・解説		期末試験 解答解説	32	12月15日	
	33	柔道整復学の総合的な復習		肘関節脱臼の復習	33	1月5日	
	34	柔道整復学の総合的な復習		コーレス骨折の復習	34	1月19日	
	35	柔道整復学の総合的な復習		上腕二頭筋長頭腱損傷、腱板損傷の復習	35	1月26日	
	36	柔道整復学の総合的な復習		ボクサー骨折、示指PIP関節脱臼の復習	36	2月2日	
	37	柔道整復学の総合的な復習		大腿四頭筋損傷、ハムストリングス損傷の復習	37	2月9日	
	38	柔道整復学の総合的な復習		前十字靱帯損傷、内側側副靱帯損傷、半月板損傷の復習	38	2月16日	
	39	柔道整復学の総合的な復習		下腿三頭筋肉ばなれ、足関節捻挫の復習	39	2月23日	
	40	柔道整復学の総合的な復習		下腿骨幹部骨折、アキレス腱断裂の復習	40	3月2日	
				合計コマ数	40		

※日程は変更されることがあります。
※10/13、11/24、2/23は祝日ですが、授業日となりますのでご注意ください。

講義科目名	演習Ⅳ	分野区分	応用分野
担当教員名	黒岩 靖史	講義回数 (コマ数)	28コマ
履修学年	第 3 学 年	履修期間	前 期
講義内容	「柔道整復師の業務は、脱臼、骨折、打撲、捻挫等に対してその回復を図る施術を業として行うものである」と行政の見解が示されているが、日常来所される患者は業務範囲内の患者のみとは限らず、業務範囲外の患者もあり、これらの患者も正しく指導（転医勧奨）し、ときには応急手当などの処置を施さなくてはならない。 そのためには幅広い医学的知識が要求されることから運動器以外の人体の構造を理解することが重要となるため柔道整復師にとって必要な循環器や内臓器、神経系に対する講義を中心に行い、解剖見学実習を通じて人体の構造の理解を深めることを目標とする。 就職ガイダンスでは将来的なビジョンの獲得を目指す。 また職場見学実習では就職先として様々な職場のそれぞれの考え方や施術方法などを学ぶことで、自分のビジョンを明確にし、早い段階から仕事に対する意識を持つようにする。		
評 価	期末試験の得点（前期末試験と後期末試験の平均値）を評価とする。 出席状況、授業態度、小テストの結果などは総合評価の時点で加味することがある。		
備 考	講義によっては課題やレポート提出を課す場合もある。		
参考書等	参考資料等を配布する。		

第 3 学 年

科 目 (演 習Ⅳ)

担 当 (黒 岩 靖 史)

		編	章	節	コマ数	日 付	講 義 内 容
前期	1			心臓	1	4月8日	心臓の構造
	2			心脈管系	2	4月15日	動脈系
	3		脈管系	心脈管系	3	4月22日	動脈系
	4			心脈管系	4	5月13日	静脈系・胎児循環
	5			リンパ系	5	5月20日	リンパ系
	6			消化器	6	5月27日	消化器の種類と構造
	7			消化器	7	6月3日	消化器の種類と構造
	8			消化器	8	6月10日	消化器の種類と構造
	9			呼吸器	9	6月17日	呼吸器の種類と構造
	10		内臓系	呼吸器	10	6月24日	呼吸器の種類と構造
	11			泌尿器	11	7月1日	泌尿器の種類と構造
	12			泌尿器	12	7月8日	泌尿器の種類と構造
	13			生殖器	13	7月15日	男性生殖器の種類と構造
	14			生殖器	14	7月22日	女性生殖器の種類と構造
後期	15			神経系の基礎	15	7月29日	神経系の区分と特徴
	16		神経系	中枢神経系	16	8月5日	脳・脊髄
	17			末梢神経系	17	8月19日	脳神経・脊髄神経
	18		前期末試験		18	8月26日	期末試験
	19		解答・解説		19	9月2日	解答・解説
	20		神経系	末梢神経系	20	9月9日	自律神経
	21				21	5月1日	解剖見学を通じて学んできた人体の構造をしっかりと理解する
	22		解剖見学実習		22	5月1日	解剖見学を通じて学んできた人体の構造をしっかりと理解する
	23				23	6月1日	就職についての心構え・イメージづくり
	24		就職ガイダンス		24	6月1日	就職についての心構え・イメージづくり
	25				25	6/2～9/19	就職についての心構え・イメージづくり
	26		職場見学実習		26	6/2～9/19	就職についての心構え・イメージづくり
	27				27	6/2～9/19	就職についての心構え・イメージづくり
	28		業界説明会		28	11月4日	柔道整復師として活躍するための心構えについて学ぶ
合計コマ数					28	※日程は変更されることがあります。	

講義科目名	柔道整復学Ⅵ	分野区分	専門分野
担当教員名	福田 泰昌	講義回数 (コマ数)	20コマ
履修学年	第 3 学 年	履修期間	後 期
講義内容	柔道整復学の総論及び各論について総合的な復習を行う。 各論については上肢、下肢、頭部・体幹に分け、それぞれの骨折・脱臼・軟部組織損傷における重要な事項について再確認する。 原則として講義形式(板書・プリント配布など)で授業を行う。 初回に配布されたプリントを毎回持参し、予習復習を怠らないようにすること。 年明け以降は問題演習を中心に行う。		
評 価	筆記試験で評価する。 出席状況や授業態度などは年度末の総合評価の時点で加味することがある。		
備 考			
参考書等	柔道整復学 理論編および実技編、包帯固定学		

第 3 学 年 科 目 (柔道整復学Ⅵ) 担 当 (福田 泰昌)

	編	章	節	コマ数	日 付	講 義 内 容
21			柔道整復学の復習	1	9月23日	骨折総論
22			柔道整復学の復習	2	10月7日	脱臼総論
23			柔道整復学の復習	3	10月14日	上肢の骨折
24			柔道整復学の復習	4	10月21日	上肢の脱臼
25			柔道整復学の復習	5	10月28日	上肢の軟部組織損傷
26			柔道整復学の復習	6	11月4日	下肢の骨折
27			柔道整復学の復習	7	11月11日	下肢の脱臼
28			柔道整復学の復習	8	11月18日	下肢の軟部組織損傷
29			柔道整復学の復習	9	11月25日	頭部体幹の骨折・脱臼
30			柔道整復学の復習	10	12月2日	頭部体幹の軟部組織損傷
31		後期末試験		11	12月9日	期末試験
32		解答・解説		12	12月16日	期末試験 解答解説
33			柔道整復学の問題演習	13	1月6日	骨折総論
34			柔道整復学の問題演習	14	1月13日	脱臼総論
35			柔道整復学の問題演習	15	1月20日	上肢の骨折・脱臼
36			柔道整復学の問題演習	16	1月27日	上肢の軟部組織損傷
37			柔道整復学の問題演習	17	2月3日	下肢の骨折・脱臼
38			柔道整復学の問題演習	18	2月10日	下肢の軟部組織損傷
39			柔道整復学の問題演習	19	2月17日	頭部体幹の骨折・脱臼
40			柔道整復学の問題演習	20	2月24日	頭部体幹の軟部組織損傷
合計コマ数				20	※日程は変更されることがあります。 ※9月23日は祝日ですが、授業日となりますのでご注意ください。	

講義科目名	一般臨床医学Ⅱ	分野区分	専門基礎分野
担当教員名	蓮見 昭洋	講義回数 (コマ数)	40コマ
履修学年	第 3 学 年 (I 部)	履修期間	通 年
講義内容	この科目では、以下のことに留意しながら学んでいく。 診断学および各臓器の疾患の特徴、症状、検査結果、治療法を学んでいく。 疾患の特徴では基礎医学(生理学/解剖学)の知識を基盤に疾患の大まかな概念を理解する。 疾患の症状では臓器特有の症状および合併症に伴う症状を理解する。 疾患検査では臓器および疾患特有の検査方法を理解する。 疾患の治療法は薬物治療の種類なども理解する。 特に、解剖学、生理学や病理学の基礎医学の復習もしっかり行っておくこと。 また、2年生の時に学んだ一般臨床医学Ⅰの内容も同時に関連付けて覚える。		
評価	期末試験の得点で各期末の評価とする。 出席状況、授業態度、小テストなどは年度末の総合評価の時点で加味することがある。		
備考			
参考書等	一般臨床医学 教科書だけでなくプリントも配布する。		

第 3 学 年 科 目 (一般臨床医学Ⅱ) (I 部) 担 当 (連 見 昭 洋)					
週	編	章	節	コマ数	日 付
前期		主要な疾患	代謝・栄養疾患	1	4月8日
		主要な疾患	代謝・栄養疾患	2	4月15日
		主要な疾患	代謝・栄養疾患	3	4月22日
		主要な疾患	内分泌疾患	4	5月13日
		主要な疾患	内分泌疾患	5	5月20日
		主要な疾患	内分泌疾患	6	5月27日
		主要な疾患	内分泌疾患	7	6月3日
		主要な疾患	内分泌疾患	8	6月10日
		主要な疾患	血液・造血器疾患	9	6月17日
		主要な疾患	血液・造血器疾患	10	6月24日
		主要な疾患	血液・造血器疾患	11	7月1日
		主要な疾患	血液・造血器疾患	12	7月8日
		主要な疾患	腎・尿路疾患	13	7月15日
		主要な疾患	腎・尿路疾患	14	7月22日
		主要な疾患	腎・尿路疾患	15	7月29日
		主要な疾患	腎・尿路疾患	16	8月5日
		主要な疾患	問題演習	17	8月19日
後期		前期末試験		18	8月26日
		解答・解説		19	9月2日
		主要な疾患	神経疾患	20	9月9日
		主要な疾患	神経疾患	21	9月23日
		主要な疾患	神経疾患	22	10月7日
		主要な疾患	神経疾患	23	10月14日
		主要な疾患	神経疾患	24	10月21日
		主要な疾患	感染症	25	10月28日
		主要な疾患	感染症	26	11月4日
		主要な疾患	感染症	27	11月11日
		主要な疾患	リウマチ・膠原病・アレルギー	28	11月18日
		主要な疾患	リウマチ・膠原病・アレルギー	29	11月25日
		主要な疾患	リウマチ・膠原病・アレルギー	30	12月2日
		後期末試験		31	12月9日
		解答・解説		32	12月16日
		主要な疾患	リウマチ・膠原病・アレルギー	33	1月6日
		主要な疾患	環境要因による疾患	34	1月13日
		主要な疾患	総合臨床医学演習	35	1月20日
		主要な疾患	総合臨床医学演習	36	1月27日
		主要な疾患	総合臨床医学演習	37	2月3日
		主要な疾患	総合臨床医学演習	38	2月10日
		主要な疾患	総合臨床医学演習	39	2月17日
		主要な疾患	総合臨床医学演習	40	2月24日
合計コマ数				40	

※日程は変更されることがあります。

※9月23日は祝日ですが、授業日となりますのでご注意ください。

講義科目名	一般臨床医学Ⅱ	分野区分	専門基礎分野
担当教員名	青山 正洋	講義回数 (コマ数)	40コマ
履修学年	第3学年(Ⅱ部)	履修期間	通 年
講義内容	診断学および各臓器の疾患の特徴, 症状, 検査結果, 治療法を学んでいく. 疾患の特徴では基礎医学の知識を基盤に疾患の大まかな概念を理解する. 疾患の症状では臓器特有の症状および合併症に伴う症状を理解する. 疾患検査では臓器および疾患特有の検査値を理解する. 疾患の治療法は保存的治療と観血的治療に分けて理解する.		
評価	期末試験の得点で各期末の評価とする. 出席状況、授業態度、小テストなどは年度末の総合評価の時点で加味することがある.		
備考			
参考書等	一般臨床医学 教科書だけでなくプリントも配布する.		

第3学年 科目(一般臨床医学Ⅱ) (Ⅱ部) 担当(青山 正洋)

	編	章	節	コマ数	日付	講義内容
前期	1	主要な疾患	代謝・栄養疾患	1	4月9日	糖尿病の疾患概念
	2	主要な疾患	代謝・栄養疾患	2	4月16日	脂質異常症、肥満症、メタボリックシンドロームの疾患概念
	3	主要な疾患	代謝・栄養疾患	3	4月23日	高尿酸血症・痛風の疾患概念
	4	主要な疾患	内分泌疾患	4	5月7日	内分泌総論、内分泌間脳疾患の疾患概念
	5	主要な疾患	内分泌疾患	5	5月14日	内分泌下垂体疾患の疾患概念
	6	主要な疾患	内分泌疾患	6	5月21日	内分泌甲状腺疾患、内分泌副甲状腺疾患の疾患概念
	7	主要な疾患	内分泌疾患	7	5月28日	内分泌副腎皮質疾患、内分泌副腎髄質疾患の疾患概念
	8	主要な疾患	内分泌疾患	8	6月4日	内分泌性線疾患の疾患概念とまとめ
	9	主要な疾患	血液・造血器疾患	9	6月11日	血液疾患総論、赤血球疾患の疾患概念(貧血の各論)
	10	主要な疾患	血液・造血器疾患	10	6月18日	赤血球疾患各論の続き
	11	主要な疾患	血液・造血器疾患	11	6月25日	白血球系疾患の疾患概念(白血球、悪性リンパ腫の各論)
	12	主要な疾患	血液・造血器疾患	12	7月2日	血小板疾患の疾患概念(特発性血小板減少性紫斑病、血友病)、多発性骨髄腫の疾患概念
	13	主要な疾患	腎・尿路疾患	13	7月9日	腎臓疾患総論、急性腎障害、慢性腎臓病の疾患概念
	14	主要な疾患	腎・尿路疾患	14	7月16日	糸球体疾患、ネフローゼ症候群、間質性腎炎の疾患概念
	15	主要な疾患	腎・尿路疾患	15	7月23日	尿路感染症、遺伝性腎疾患、全身疾患に伴う腎障害の疾患概念
	16	主要な疾患	腎・尿路疾患	16	7月30日	泌尿器科的疾患の疾患概念
	17	主要な疾患	問題演習	17	8月20日	血液・造血器疾患、腎・尿路疾患に関する問題演習
	18	前期末試験		18	8月27日	前期末試験
	19	解答・解説		19	9月3日	解答・解説
後期	20	主要な疾患	神経疾患	20	9月10日	神経疾患総論、脳血管障害の疾患概念
	21	主要な疾患	神経疾患	21	9月24日	脳神経腫瘍性疾患の疾患概念
	22	主要な疾患	神経疾患	22	10月1日	脳神経感染性疾患・機能的疾患の疾患概念
	23	主要な疾患	神経疾患	23	10月8日	神経変性疾患(認知症、パーキンソン病)の疾患概念
	24	主要な疾患	神経疾患	24	10月15日	炎症性神経疾患・神経免疫疾患・筋疾患の疾患概念
	25	主要な疾患	感染症	25	10月22日	感染症総論(感染経路と対策)
	26	主要な疾患	感染症	26	10月29日	呼吸器感染症、腸管感染症、中枢神経系感染症の疾患概念
	27	主要な疾患	感染症	27	11月5日	皮膚感染症、整形外科領域感染症、性行為感染症、ウイルス感染症(各論)の疾患概念
	28	主要な疾患	リウマチ・膠原病・アレルギー	28	11月19日	膠原病総論、関節リウマチ、全身性エリテマトーデスの疾患概念
	29	主要な疾患	リウマチ・膠原病・アレルギー	29	11月26日	強皮症、皮膚筋炎、シェーグレン症候群、ベーチェット病の疾患概念
	30	主要な疾患	リウマチ・膠原病・アレルギー	30	12月3日	結節性多発動脈炎、リウマチ性多発筋痛症、リウマチ熱の疾患概念
	31	後期末試験		31	12月10日	後期末試験
	32	解答・解説		32	12月17日	解答・解説
	33	主要な疾患	リウマチ・膠原病・アレルギー	33	1月7日	アレルギー総論、アナフィラキシーショック
	34	主要な疾患	環境要因による疾患	34	1月14日	熱中症、一酸化炭素中毒の疾患概念
	35	主要な疾患	総合臨床医学演習	35	1月21日	診断学および臨床疾患に関する総合演習
	36	主要な疾患	総合臨床医学演習	36	1月28日	診断学および臨床疾患に関する総合演習
	37	主要な疾患	総合臨床医学演習	37	2月4日	診断学および臨床疾患に関する総合演習
	38	主要な疾患	総合臨床医学演習	38	2月11日	診断学および臨床疾患に関する総合演習
	39	主要な疾患	総合臨床医学演習	39	2月18日	診断学および臨床疾患に関する総合演習
	40	主要な疾患	総合臨床医学演習	40	2月25日	診断学および臨床疾患に関する総合演習
合計コマ数				40	※日程は変更されることがあります。 ※2月11日は祝日ですが、授業日となりますのでご注意ください。	

講義科目名	リハビリテーション医学	分野区分	専門基礎分野
担当教員名	蓮見 昭洋	講義回数 (コマ数)	20コマ
履修学年	第 3 学 年	履修期間	前 期
講義内容	医学の進歩に伴い、感染症などの急性疾患は減少し、かつては重症患者で死に至るような患者でもその命を救うことが可能となった。しかしその結果重い障害を残す患者が増加し、また平均寿命の延長による高齢者の増加により、慢性疾患の患者が増加し、リハビリテーション医学に対する需要がますます大きくなってきている。リハビリテーション医学は患者のもつあらゆる障害に対し、総合的に対処していくものであるから、医師だけでなく、理学療法士、作業療法士、柔道整復師、鍼灸師など多くのコ・メディカルとチームで行っていかなければならない。柔道整復師もチーム医療の中で重要な役割を担う専門職であることから、本講義では、リハビリテーション医学の基礎を理解し、施術に必要な理論を習得することを目指す。		
評価	期末試験の得点で各期末の評価とする。 出席状況、授業態度、小テストなどは年度末の総合評価の時点で加味することがある。		
備考			
参考書等	リハビリテーション医学 教科書だけでなくプリントも配布する。		

第 3 学 年 科 目 (リハビリテーション医学)					担 当 (蓮見 昭洋)	
週	編	章	節	コマ数	日 付	内 容
1			概論	1	4月9日	リハビリテーションの理念と歴史、リハビリテーションの対象と障害者の実態
2			概論、評価と診断	2	4月16日	障害の階層とアプローチ、ADLの評価
3			評価と診断	3	4月23日	心理的評価、認知症の評価、電気生理学的検査
4			評価と診断、基礎医学	4	5月7日	画像診断、運動失調
5			基礎医学	5	5月14日	障害の評価、拘縮、関節変形、麻痺、痙縮、痙攣、嚥下摂食障害、高次脳機能障害
6			基礎医学	6	5月21日	治療学 (リンパ浮腫、筋力強化、中枢性麻痺と痙縮、慢性疼痛など)
7			基礎医学	7	5月28日	歩行練習、リハビリにおける位置づけ
8			関連職種	8	6月4日	医師、看護師、言語聴覚療法、臨床検査技師、義肢装具士など
9			治療技術	9	6月11日	理学療法、作業療法
10			治療技術	10	6月18日	補装具、自具
11			実際	11	6月25日	脳卒中のリハビリテーション、急性期、回復期、維持期、脳性麻痺
12			実際	12	7月2日	パーキンソン病のリハビリテーション
13			高齢者	13	7月9日	フレイル、ロコモティブシンドロームなど
14			高齢者	14	7月16日	高齢者の自立支援、ポジショニングなど
15			高齢者	15	7月23日	機能訓練指導員
16			リハビリテーションと福祉	16	7月30日	機能訓練指導員の知識
17		1～16	総合問題演習	17	8月20日	総合問題演習
18		前期末試験		18	8月27日	前期末試験
19		解答・解説		19	9月3日	解答・解説
20			まとめ	20	9月10日	まとめ
前期						
合計コマ数				20	※日程は変更されることがあります。	

講義科目名	運動学	分野区分	専門基礎分野
担当教員名	蓮見 昭洋	講義回数 (コマ数)	20コマ
履修学年	第 3 学 年	履修期間	後 期
講義内容	運動学は、人間の運動の仕組みを理解する学問領域である。運動の仕組みを理解するためには、1)筋骨格系の構造と機能、2)神経筋系の構造と機能、3)人体に作用する内力と外力の力学的関係性、4)運動の評価法が総合的に導入される必要がある。 本講義では、解剖学および生理学を基礎として、人間の身体運動に関わる応用的な知識を身につけることを目的とする。		
評価	期末試験の得点で各期末の評価とする。 出席状況、授業態度、小テストなどは年度末の総合評価の時点で加味することがある。		
備考			
参考書等	運動学 教科書だけでなくプリントも配布する。		

第 3 学 年 科 目 (運 動 学)						担 当 (蓮 見 昭 洋)	
	週	編	章	節	コマ数	日 付	内 容
後期	21		運動の表し方	1、2	1	9月24日	身体運動に関する共通の言葉
	22		身体運動と力学(1)	3-A、B	2	10月1日	身体に働く様々な力とてこ
	23		身体運動と力学(2)	3-C、D	3	10月8日	身体運動に関する物理量
	24		運動器の構造と機能(1)	4-A、B	4	10月15日	骨と関節の構造
	25		運動器の構造と機能(2)	4-C、D	5	10月22日	骨格筋の収縮メカニズムと身体運動
	26		神経の構造と機能	5-A、B、C	6	10月29日	神経系の構造、末梢神経と中枢神経
	27		運動感覚	6	7	11月5日	運動中の感覚情報
	28		反射と随意運動	7	8	11月19日	反射と随意運動のメカニズム
	29		四肢と体幹の運動(1)	8-A、B、C	9	11月26日	上肢と下肢の運動(1)
	30		四肢と体幹の運動(2)	8-D、E、F	10	12月3日	上肢と下肢の運動(2)
	31		後期末試験		11	12月10日	期末試験
	32		解答・解説		12	12月17日	解答・解説
	33		四肢と体幹の運動(3)	8-K、L	13	1月7日	体幹、首、胸の運動
	34		四肢と体幹の運動(4)	8-G、H、I、J	14	1月14日	腰と頭の運動
	35		姿勢		15	1月21日	姿勢、重心
	36		歩行	9	16	1月28日	歩行のメカニズムと発達
	37		運動発達		17	2月4日	発達のメカニズムと順序
	38		運動学習		18	2月11日	運動学習のメカニズムとその促進
	39				19	2月18日	総合演習
	40				20	2月25日	総合演習
				合計コマ数	20	※日程は変更されることがあります。 ※2月11日は祝日ですが、授業日となりますのでご注意ください	

講義科目名	関係法規	分野区分	専門基礎分野
担当教員名	斉藤 文教	講義回数 (コマ数)	25コマ
履修学年	第 3 学 年	履修期間	通 年
講義内容	柔道整復師法と関連する関係法規を学ぶことにより法的知識と医療倫理を習得し、 柔道整復師としての法的立場を理解し、施術に対しての責任と自覚を持つことを目的とする		
評 価	期末試験(前期、後期の平均値)を評価する 出席状況、授業態度を加味することもある		
備 考	前期末試験と後期末試験があります		
参考書等	関係法規		

第 3 学 年

科 目 (関係法規)

担 当 (齊藤 文教)

	編	章	節	コマ数	日付(Ⅰ部)	日付(Ⅱ部)	講義内容
前期	1	序論	第1章総則			4月8日	法の意義
	2	柔道	第2章免許	第1章1～2節	1	4月9日	不文法、成文法
	3	整復師	第2章免許	1～4節	2	4月15日	公法と私法
	4	法	第2章第3章試験	5～9節	3	4月22日	柔道整復師免許
	5		第4章業務	第2章10節 第3章1～2節	4	4月23日	欠格事由
	6		第5章施術所	1～5節	5	5月7日	免許の取り消し、書き換え、再交付、免許証の返納
	7		第6.7章雑則罰則	1～3節	6	5月13日	行政処分、試験の実施、受験資格、不正行為、試験科目、合格証書
	8			第6章 1～2節 第7章	7	5月14日	業務の禁止、業務範囲、診療放射線、守秘義務、都道府県知事の指示
	9		前期末試験		8	5月21日	施術所の届け出、構造設備、施術所に対する監督
	10		前期末試験・解答・解説		9	5月28日	広告の制限 名称の制限 罰則 罪刑法定主義、刑罰不遡及主義
後期	11		解答・解説		8月4日	8月19日	練習問題 復習
	12		第8.9章		8月20日	8月26日	前期末試験(Ⅱ部)
	13	関係			8月27日	9月2日	前期末試験(Ⅰ部)、解答解説(Ⅱ部)
	14	法規		第8章1～2節 第9章1～2節	9月3日	11月4日	解答解説(Ⅰ部)
	15			第1～4	11月5日	11月11日	登録事務、守秘義務、免許の特例 受験資格の特例
	16		後期末試験	第5～8	11月19日	11月18日	医師法 歯科医師法 保健師助産師看護師法 診療放射線技師法
	17		解答・解説		11月26日	11月25日	臨床検査技師法 PT OT ST法 視能訓練士法
	18				12月3日	12月2日	練習問題 復習
	19	医療法	第1～第2章		12月10日	12月9日	後期末試験
	20			第9～14	12月17日	12月16日	試験解答解説
	21		社会福祉関係法規		1月7日	1月6日	臨床工学技士法 義肢装具士法 救急救命士法 歯科衛生士、薬剤師法
	22		社会保険関係法規		1月14日	1月13日	目的 医療提供の理念 病院等の定義 情報の提供
	23				1月21日	1月20日	医療安全支援センター 病院等の開設 嘱託医師
	24		全範囲		1月28日	1月27日	生活保護法 児童福祉法 身体障害者福祉法等
	25		全範囲		2月4日	2月3日	健康保険法 国民健康保険法
				23	2月11日	2月10日	介護保険法 個人情報保護法
				24	2月18日	2月17日	総合授業
				25	2月25日	2月24日	練習問題 復習
合計コマ数				25			

講義科目名	柔道	分野区分	専門基礎分野
担当教員名	斉藤 文教	講義回数 (コマ数)	15コマ
履修学年	第 3 学 年	履修期間	通 年
講義内容	柔道の基本である礼法を再確認させ、他人を思いやる精神を育む。 また、受け身に時間をかけ、技の説明、約束稽古、乱取り稽古と進み、相手の力を利用した技の習得を目指す 投の形を習得し初段と同等の実力をつけ、実技認定試験合格を目指す		
評 価	投の形の習得状況と出席状況にて評価する		
備 考	安全を第1に考え、ケガ人0を目指す		
参考書等			

第 3 学 年			科 目 (柔 道)		担 当 (斉 藤 文 教)	
		実 技 概 要	コマ数	日付(Ⅰ部)	日付(Ⅱ部)	実 技 内 容
前期 後期	1	礼節、柔道の理念	1	6月11日	6月10日	準備体操 立礼、坐礼 受身、打ち込み 移動打ち込み
	2	投の形 手技	2	6月18日	6月17日	準備体操 立礼、坐礼 受身、打ち込み 移動打ち込み 投の形(浮落)
	3	投の形 手技	3	6月25日	6月24日	準備体操 立礼、坐礼 受身、打ち込み 移動打ち込み 投の形(肩車)
	4	投の形 手技	4	7月2日	7月1日	準備体操 立礼、坐礼 受身、打ち込み 移動打ち込み 投の形(背負投)
	5	投の形 手技	5	7月9日	7月8日	準備体操 立礼、坐礼 受身、打ち込み 移動打ち込み 投の形(浮落、肩車、背負投)
	6	投の形 腰技	6	7月16日	7月15日	準備体操 立礼、坐礼 受身、打ち込み 移動打ち込み 投の形(浮腰)乱取り
	7	投の形 腰技	7	7月23日	7月22日	準備体操 立礼、坐礼 受身、打ち込み 移動打ち込み 投の形(払腰)乱取り
	8	投の形 腰技	8	7月30日	7月29日	準備体操 立礼、坐礼 受身、打ち込み 移動打ち込み 投の形(釣込腰)乱取り
	9	投の形 腰技	9	9月10日	8月5日	準備体操 立礼、坐礼 受身、打ち込み 移動打ち込み 投の形(浮腰、払腰、釣込腰)乱取り
	10	投の形 足技	10	9月24日	9月9日	準備体操 立礼、坐礼 受身、打ち込み 移動打ち込み 投の形(送足私)乱取り
	11	投の形 足技	11	10月1日	9月23日	準備体操 立礼、坐礼 受身、打ち込み 移動打ち込み 投の形(支釣込足)乱取り
	12	投の形 足技	12	10月8日	10月7日	準備体操 立礼、坐礼 受身、打ち込み 移動打ち込み 投の形(内股)乱取り
	13	投の形 足技	13	10月15日	10月14日	準備体操 立礼、坐礼 受身、打ち込み 移動打ち込み 投の形(送足私、支釣込足、内股)
	14	試験	14	10月22日	10月21日	準備体操 立礼、坐礼 受身 試験
	15	復習	15	10月29日	10月28日	準備体操 立礼、坐礼 受身、打ち込み 移動打ち込み 投の形
合計コマ数			15		※日程は変更されることがあります。 ※9/23は祝日ですが、授業日となりますのでご注意ください。	

講義科目名	整形外科学	分野区分	専門基礎分野
担当教員名	中島 一郎	講義回数 (コマ数)	40コマ
履修学年	第 3 学 年 (I 部)	履修期間	通 年
講義内容	今後柔道整復師にとって基本となる整形外科について身体所見の取り方や検査法および診断法から学び、関節リウマチなどの炎症性疾患、骨軟部腫瘍および骨系統疾患等の疾患別各論について学ぶ。また各部位(頸椎から足趾まで)の機能解剖から学びその部位の外傷性疾患および変性疾患について学ぶ。また実際の臨床の場でよく遭遇する症例についても紹介していく。 授業は教科書のポイントをまとめプリントとして毎回配布予定です。		
評 価	期末試験の得点で各期末の評価とする。 出席状況、授業態度、小テストなどは年度末の総合評価の時点で加味することがある。		
備 考			
参考書等	整形外科学 教科書だけでなくプリントも配布する。		

第3学年 科目(整形外科学)

(I部) 担当 (中島 一郎)

	編	章	節	コマ数	日付	講義内容
前期	1	整形外科とは	運動器の基礎知識	1	4月17日	整形外科学についておよび運動器の基礎知識(骨、関節、筋、靱帯など)について
	2	整形外科診察法	姿勢、上下肢長・周径など	2		診察法(姿勢の見方、上下肢長の測定方法、反射の取り方など)について
	3	整形外科検査法1	レントゲン、CTなど	3	5月8日	検査の進め方およびレントゲン、CT、MRIなどの基礎知識について
	4	整形外科検査法2	電気生理学検査など	4		電気生理学検査(筋電図、神経伝導速度検査)、関節鏡などについて
	5	整形外科治療法1	保存療法	5	5月22日	整形外科治療法の保存的治療(薬物治療、徒手整復法、ギプス固定法など)について
	6	整形外科治療法2	観血的治療	6		整形外科治療法の観血的治療(皮膚の手術、関節の手術、腱の手術など)について
	7	骨・関節損傷総論1	骨折総論など	7	6月5日	骨折の定義、分類、骨折の治癒過程、骨折の治療法などについて
	8	骨・関節損傷総論2	関節の損傷	8		開放性骨折の分類、関節損傷および外傷性脱臼について
	9	スポーツ整形外科概論	スポーツ整形外科	9	6月19日	スポーツ整形外科の位置づけなどについて
	10	リハビリテーション	リハビリテーション総論	10		各疾患に対してのリハビリテーション本について
	11	疾患別各論1	化膿性疾患	11	7月3日	急性化膿性骨髄炎、慢性化膿性骨髄炎などについて
	12	疾患別各論2	骨腫瘍、軟部腫瘍など	12		悪性、良性骨、軟部腫瘍について
	13	疾患別各論3	関節リウマチなど	13	7月17日	関節リウマチの病態、診断、治療および痛風などについて
	14	疾患別各論4	その他の関節炎など	14		その他の関節炎(強直性脊椎炎、シャルコー関節など)について
	15	疾患別各論5	先天性骨系統疾患	15	7月31日	軟骨無形成症等の先天性骨系統疾患について
	16	疾患別各論6	骨端症1	16		骨端症の原因および種類について
	17	前期末試験		17	8月28日	前期末試験
	18	解答・解説		18		試験解説
後期	19	疾患別各論7	骨端症2	19	9月11日	骨端症の各論について(ペルテス病、キーンベック病など)
	20	疾患別各論8	四肢循環障害	20		閉塞性動脈硬化症等の四肢循環障害について
	21	疾患別各論9	神経・筋疾患1	21	10月2日	上肢の神経麻痺と絞扼性神経障害
	22	疾患別各論10	神経・筋疾患2	22		下肢の神経麻痺と絞扼性神経障害、腕神経叢麻痺について
	23	疾患別各論11	神経・筋疾患3	23	10月16日	全身性神経・筋疾患について
	24	身体部位別各論1	頸部	24		頸部の機能解剖および疾患(頸椎症など)について
	25	身体部位別各論2	胸部	25	10月30日	胸部の機能解剖および疾患(側弯症など)について
	26	身体部位別各論3	腰部1	26		腰部の機能解剖および疾患(腰椎脱臼骨折など)について
	27	身体部位別各論4	腰部2	27	11月20日	腰部の疾患(腰椎椎間板ヘルニアなど)について
	28	身体部位別各論5	肩甲帯および上肢の疾患1	28		肩関節および肩甲帯の機能解剖および疾患(骨折)について
	29	身体部位別各論6	肩甲帯および上肢の疾患2	29	12月4日	肩関節および肩甲帯の機能解剖および疾患(肩関節周囲炎など)について
	30	身体部位別各論7	肩甲帯および上肢の疾患3	30		上腕・肘関節の機能解剖および骨折の手術について
	31	後期末試験		31	12月18日	後期末試験
	32	解答・解説		32		解答・解説
	33	身体部位別各論8	肩甲帯および上肢の疾患4	33	1月15日	上腕・肘関節の骨軟骨障害および靱帯損傷などについて
	34	身体部位別各論9	肩甲帯および上肢の疾患5	34		前腕の機能解剖および骨折の手術などについて
	35	身体部位別各論10	肩甲帯および上肢の疾患6	35	1月29日	手関節の機能解剖および骨折の手術などについて
	36	身体部位別各論11	肩甲帯および上肢の疾患7	36		手・手指の機能解剖および骨折などについて
	37	身体部位別各論12	骨盤および下肢の疾患1	37	2月12日	骨盤・股関節の機能解剖および骨折などについて
	38	身体部位別各論13	骨盤および下肢の疾患2	38		大腿・膝関節の機能解剖および骨折などについて 下腿・足関節の機能解剖について
	39	身体部位別各論14	骨盤および下肢の疾患3	39	2月26日	下腿・足関節の機能解剖および骨折などについて 足・足趾の機能解剖
	40	身体部位別各論15	骨盤および下肢の疾患4	40		足・足趾の骨折などについて
合計コマ数				40	※日程は変更されることがあります。	

講義科目名	整形外科科学	分野区分	専門基礎分野
担当教員名	蓮見 昭洋	講義回数 (コマ数)	40コマ
履修学年	第 3 学 年 (Ⅱ部)	履修期間	通 年
講義内容	柔道整復師は主に非観血療法による治療を行います。整形外科では観血療法、投薬、画像診断などにより治療を行う。そのため、柔道整復師と整形外科医は業務範囲は異なりますが、治療に関する連携が常に求められる。そのため、今後柔道整復師にとって基本となる整形外科について身体所見の取り方や検査法および診断法から観血療法に至るまで学び、関節リウマチなどの炎症性疾患、骨軟部腫瘍および骨系統疾患等の疾患別各論について学ぶ。また各部位(頸椎から足趾まで)の機能解剖から学びその部位の外傷性疾患および変性疾患について学ぶ。また実際の臨床の場でよく遭遇する症例や医療機関における事例についても紹介していく。		
評価	期末試験の得点で各期末の評価とする。 出席状況、授業態度、小テストなどは年度末の総合評価の時点で加味することがある。		
備考			
参考書等	整形外科科学 教科書だけでなくプリントも配布する。		

第 3 学 年				科 目 (整 形 外 科 学)		(Ⅱ 部)		担 当 (蓮 見 昭 洋)	
週	編	章	節	コマ数	日 付	内 容			
前期	1	整形外科とは	運動器の基礎知識	1	4月17日	整形外科科学についておよび運動器の基礎知識(骨、関節、筋、靱帯など)について			
	2	整形外科診察法	姿勢、上下肢長・周径など	2		診察法(姿勢の見方、上下肢長の測定方法、反射の取り方など)について			
	3	整形外科検査法1	レントゲン、CTなど	3	5月8日	検査の進め方およびレントゲン、CT、MRIなどの基礎知識について			
	4	整形外科検査法2	電気生理学検査など	4		電気生理学検査(筋電図、神経伝導速度検査)、関節鏡などについて			
	5	整形外科治療法1	保存療法	5	5月22日	整形外科治療法の保存的治療(薬物治療、徒手整復法、ギプス固定法など)について			
	6	整形外科治療法2	観血的治療	6		整形外科治療法の観血的治療(皮膚の手術、関節の手術、腱の手術など)について			
	7	骨・関節損傷総論1	骨折総論など	7	6月5日	骨折の定義、分類、骨折の治癒過程、骨折の治療法などについて			
	8	骨・関節損傷総論2	関節の損傷	8		開放性骨折の分類、関節損傷および外傷性脱臼について			
	9	スポーツ整形外科概論	スポーツ整形外科	9	6月19日	スポーツ整形外科の位置づけなどについて			
	10	リハビリテーション	リハビリテーション総論	10		各疾患に対してのリハビリテーション本について			
	11	疾患別各論1	化膿性疾患	11	7月3日	急性化膿性骨髄炎、慢性化膿性骨髄炎などについて			
	12	疾患別各論2	骨腫瘍、軟部腫瘍など	12		悪性、良性骨、軟部腫瘍について			
	13	疾患別各論3	関節リウマチなど	13	7月17日	関節リウマチの病態、診断、治療および痛風などについて			
	14	疾患別各論4	その他の関節炎など	14		その他の関節炎(強直性脊椎炎、シヤルコー関節など)について			
	15	疾患別各論5	先天性骨系統疾患	15	7月31日	軟骨無形成症等の先天性骨系統疾患について			
	16	疾患別各論6	骨端症1	16		骨端症の原因および種類について			
	17	疾患別各論7	骨端症2	17	8月28日	前期末試験			
	18	前期末試験		18		試験解説			
後期	19	解答・解説		19	9月11日	骨端症の各論について(ペルテス病、キーンベック病など)			
	20	疾患別各論8	四肢循環障害	20		閉塞性動脈硬化症等の四肢循環障害について			
	21	疾患別各論9	神経・筋疾患1	21	10月2日	上肢の神経麻痺と絞扼性神経障害			
	22	疾患別各論10	神経・筋疾患2	22		下肢の神経麻痺と絞扼性神経障害、腕神経叢麻痺について			
	23	疾患別各論11	神経・筋疾患3	23	10月16日	全身性神経・筋疾患について			
	24	身体部位別各論1	頸部	24		頸部の機能解剖および疾患(頸椎症など)について			
	25	身体部位別各論2	胸部	25	10月30日	胸部の機能解剖および疾患(側弯症など)について			
	26	身体部位別各論3	腰部1	26		腰部の機能解剖および疾患(腰椎脱臼骨折など)について			
	27	身体部位別各論4	腰部2	27	11月20日	腰部の疾患(腰椎椎間板ヘルニアなど)について			
	28	身体部位別各論5	肩甲帯および上肢の疾患1	28		肩関節および肩甲帯の機能解剖および疾患(骨折)について			
	29	身体部位別各論6	肩甲帯および上肢の疾患2	29	12月4日	肩関節および肩甲帯の機能解剖および疾患(肩関節周囲炎など)について			
	30	身体部位別各論7	肩甲帯および上肢の疾患3	30		上腕・肘関節の機能解剖および骨折の手術について			
	31	後期末試験		31	12月18日	後期末試験			
	32	解答・解説		32		解答・解説			
	33	身体部位別各論8	肩甲帯および上肢の疾患4	33	1月15日	上腕・肘関節の骨軟骨障害および靱帯損傷などについて			
	34	身体部位別各論9	肩甲帯および上肢の疾患5	34		前腕の機能解剖および骨折の手術などについて			
	35	身体部位別各論10	肩甲帯および上肢の疾患6	35	1月29日	手関節の機能解剖および骨折の手術などについて			
	36	身体部位別各論11	肩甲帯および上肢の疾患7	36		手・手指の機能解剖および骨折などについて			
	37	身体部位別各論12	骨盤および下肢の疾患1	37	2月12日	骨盤・股関節の機能解剖および骨折などについて			
	38	身体部位別各論13	骨盤および下肢の疾患2	38		大腿・膝関節の機能解剖および骨折などについて 下腿・足関節の機能解剖について			
	39	身体部位別各論14	骨盤および下肢の疾患3	39	2月26日	下腿・足関節の骨折などについて 足・足趾の機能解剖			
	40	身体部位別各論15	骨盤および下肢の疾患4	40		足・足趾の骨折などについて			
合計コマ数				40	※日程は変更されることがあります。				

講義科目名	外科学概論	分野区分	専門基礎分野
担当教員名	松本 浩	講義回数 (コマ数)	20コマ
履修学年	第 3 学 年	履修期間	前 期
講義内容	南江堂外科学概論(改定第4版)の教科書に沿って、総論的事項を学んでいきます。解剖学、生理学、病理学概論の復習も各事項のオーバーラップする内容については取り入れていきます。内容的には多くなりますが復習的事項は思い出してもらえればと思います。各講義では講義プリントと理解についての確認問題を配布する予定です。知識も大切ですがイメージでの理解ができればと考えます。手術的事項については実際の手術器具を用いて体感してもらう予定です。各論については代表的疾患の解説を行います。		
評価	期末試験の得点で各期末の評価とする。 出席状況、授業態度、小テストなどは年度末の総合評価の時点で加味することがある。		
備考			
参考書等	外科学概論改定第4版 南江堂 解剖学改定第2版 南江堂 生理学改定第3、4版 南江堂 病理学概論改定第3版 南江堂 系統看護学講座 医学書院 標準外科学 医学書院 国民衛生の動向2021-2022 ステップアップ解剖生理学ノート 他		

第 3 学 年				科 目 (外科学概論)		担 当 (松本 浩)	
	編	章	節	コマ数	日 付	講 義 内 容	
前期	1	外科学とは・創傷	外科学概論・損傷・創傷の処置、治療過程	1	4月10日	外科学概論および損傷について、創傷の処置法や治療過程など	
	2	熱傷・炎症と外科感染症1	熱傷の分類、全身管理・炎症の定義、外科感染症1	2		熱傷の分類、重症度判定および全身管理、炎症の定義、感染症のメカニズムおよび外科感染症について	
	3	炎症と外科感染症2・腫瘍1	外科感染症2・概念、分類	3	4月24日	外科感染症(各論 骨髄炎、破傷風、ガス壊疽など)、腫瘍の分類、組織形態などについて	
	4	腫瘍2・シヨック	腫瘍の検査、診断・シヨックの分類	4		腫瘍に対する検査法および治療法、シヨックの分類およびシヨックに対する治療法について	
	5	輸血・輸液	輸血、輸液の基礎知識	5	5月15日	輸血に対する基礎知識や実際、輸液に対する基礎知識や高カロリー輸液について	
	6	消毒と滅菌・手術	主な消毒液・手術の準備	6		消毒液の種類や滅菌法、手術の準備方法や各種手術について	
	7	麻酔	麻酔の概要・各種麻酔法	7	5月29日	麻酔の概要や各種麻酔法について	
	8	移植と免疫	移植用語	8		移植の用語および各臓器の移植法について	
	9	出血と止血	出血とは・外出血、内出血	9	6月12日	出血の種類や分類、出血を起こす疾患等について	
	10	脳神経外科疾患	頭部の構造、主な神経疾患	10		頭部の構造および解剖学的基礎知識、脳神経外科疾患の各論について	
	11		甲状腺疾患、正常構造と機能	11	6月26日	甲状腺疾患および胸壁・呼吸器の解剖および検査について	
	12		肺疾患・胸部損傷	12		肺疾患の各論(腫瘍など)、胸部損傷の各論(骨折や気胸など)について	
	13	心臓・脈管疾患	心臓・血管病変	13	7月10日	心臓弁膜症、虚血性心疾患、動脈瘤などについて	
	14	乳腺疾患	解剖・良性、悪性疾患	14		乳腺の解剖および乳腺疾患の検査法、乳腺の炎症性疾患および腫瘍性疾患について	
	15	腹部外科疾患	消化管の解剖と生理・腹部外科疾患の主な症状	15	7月24日	消化管の解剖と生理、腹痛、下痢などについて	
	16	腹部外科疾患	腹部疾患の主な検査法	16		消化管疾患に対する検査法(レントゲン、内視鏡他)について	
	17	腹部外科疾患	代表的腹部外科疾患	17	8月21日	代表的腹部外科疾患(食道、胃、大腸)について	
	18	腹部外科疾患	代表的腹部外科疾患	18		代表的腹部外科疾患(肝・胆・膵)などについて	
	19		前期末試験		9月4日	前期末試験	
	20		解答・解説			解答・解説	
合計コマ数				20	※日程は変更されることがあります。		

講義科目名	臨床実習Ⅲ	分野区分	専門分野
担当教員名	福田 泰昌(実務経験有り)	講義回数 (コマ数)	46コマ
履修学年	第 3 学 年	履修期間	後 期
講義内容	臨床的に遭遇する機会が多い外傷について必要な知識と技術を学ぶ。 特にアルミ副子や種々の副子を用いた固定では基本包帯法を応用して 素早く綺麗に巻けるようになることを目指す。		
評 価	筆記試験で評価する。 出席状況や授業態度などは年度末の総合評価の時点で加味することがある。 * 毎回必ずレポートを提出すること。		
備 考	項目が下肢の場合は予め白衣の下に短パンを着用してきて下さい。 学外で実施される行事等については各自内容を把握して然るべき行動を取って下さい。		
参考書等			

第 3 学 年			科 目 (臨床実習Ⅲ)		担 当 (福田 泰昌)	
実 習 概 要			コマ数	日 付	実 習 内 容	
後期	1	臨床的な固定	1	9月25日	肋骨テーピング	
	2	臨床的な固定	2		腓腹筋テーピング	
	3	臨床的な固定	3	10月9日	手指アルフェンス固定	
	4	臨床的な固定	4		足趾アルフェンス固定	
	5	臨床的な固定	5	10月23日	手指ギブスシーネ固定	
	6	臨床的な固定	6		足趾ギブスシーネ固定	
	7	臨床的な固定	7	11月6日	手指プライトン、ルナキャスト固定	
	8	臨床的な固定	8		手関節掌側プライトン固定	
	9	臨床的な固定	9	11月27日	手関節背側ルナキャスト固定	
	10	臨床的な固定	10		ギブスシーネによるハンギングキャスト固定	
	11	後期末試験	11	12月11日	期末試験	
	12	解答・解説	12		期末試験 解答解説	
	13	臨床的な固定	13	1月8日	足関節シュガートング固定、血圧計測定	
	14	臨床的な固定	14		顎関節脱臼整復、膝蓋骨脱臼整復・クラメル副子固定	
	15	臨床的な固定	15	1月22日	膝関節シリンドーギブス固定	
	16	臨床的な固定	16		膝関節シリンドーギブス固定	
	17	競技者の外傷予防について	17	2月5日	競技者の外傷予防について	
	18	臨床的な固定	18		全体の復習	
	19	臨床的な固定	19	2月19日	問題演習 上肢の固定	
	20	臨床的な固定	20		問題演習 下肢の固定	
	21	課外実習(運動全般)	21	9月30日	ケガの予防や発生時の対処法を学ぶ	
	22	課外実習(運動全般)	22	9月30日	ケガの予防や発生時の対処法を学ぶ	
	23	課外実習(運動全般)	23	9月30日	ケガの予防や発生時の対処法を学ぶ	
	24	課外実習(運動全般)	24	9月30日	ケガの予防や発生時の対処法を学ぶ	
	25	課外実習(運動全般)	25	9月30日	ケガの予防や発生時の対処法を学ぶ	
	26	課外実習(運動全般)	26	9月30日	ケガの予防や発生時の対処法を学ぶ	
	27	課外実習(運動全般)	27	9月30日	ケガの予防や発生時の対処法を学ぶ	
	28	認定実技審査	28	10月18日	認定実技審査①(プレリハーサル)	
	29	認定実技審査	29	10月18日	認定実技審査①(プレリハーサル)	
	30	認定実技審査	30	10月18日	認定実技審査①(プレリハーサル)	
	31	認定実技審査	31	10月18日	認定実技審査①(プレリハーサル)	
	32	認定実技審査	32	10月18日	認定実技審査①(プレリハーサル)	
	33	認定実技審査	33	10月18日	認定実技審査①(プレリハーサル)	
	34	認定実技審査	34	10月26日	認定実技審査②(リハーサル)	
	35	認定実技審査	35	10月26日	認定実技審査②(リハーサル)	
	36	認定実技審査	36	10月26日	認定実技審査②(リハーサル)	
	37	認定実技審査	37	10月26日	認定実技審査②(リハーサル)	
	38	認定実技審査	38	10月26日	認定実技審査②(リハーサル)	
	39	認定実技審査	39	10月26日	認定実技審査②(リハーサル)	
	40	認定実技審査	40	11月3日	認定実技審査③	
	41	認定実技審査	41	11月3日	認定実技審査③	
	42	認定実技審査	42	11月3日	認定実技審査③	
	43	認定実技審査	43	11月3日	認定実技審査③	
	44	認定実技審査	44	11月3日	認定実技審査③	
	45	認定実技審査	45	11月3日	認定実技審査③	
	46	認定実技審査	46	11月3日	認定実技審査③	
合計コマ数			46	※日程は変更されることがあります。		

後期

講義科目名	衛生学・公衆衛生学	分野区分	専門基礎分野
担当教員名	白石 友子	講義回数 (コマ数)	40コマ
履修学年	第 3 学 年	履修期間	通 年
講義内容	衛生学・公衆衛生学とは、医学、保健学、行政、環境、経済、健康教育などの観点から人々の心身の健康促進維持を図る実践的学問である。 その意義、役割は年々多岐にわたり、重要視されている。 授業では、衛生学・公衆衛生学における基礎的な知識や、統計を読み取る力などを身につけ、さらには医療人としていかに人々の健康増進に寄与していくべきかを考える。 日常生活においても、各種関連情報に常に敏感に注目していきたい。		
評 価	学期末試験の点数(提出物、授業態度等を考慮することがある)		
備 考			
参考書等	衛生学・公衆衛生学(全国柔道整復学校協会監修)		

第3学年 科目(衛生学・公衆衛生学) 担当 (白石 友子)

編	章	節	コマ数	日 付	講 義 内 容
1	第1章	衛生学・公衆衛生学とは	1	4月11日	衛生学・公衆衛生学の歴史と公衆衛生活動
2	第2章	健康の概念	2	4月18日	健康の概念
3	第3章	疾病予防と健康管理	3	4月25日	統計と用語
4			4	5月9日	1次予防・2次予防・3次予防
5	第4章	感染症の予防	5	5月16日	感染症成立の条件
6			6	5月23日	ウイルス感染症・細菌感染症
7			7	5月30日	感染症の予防対策
8	第5章	消毒	8	6月6日	消毒とは
9			9	6月13日	消毒法の応用
10	第6章	環境衛生	10	6月20日	環境問題
11			11	6月27日	物理化学的要因
12			12	7月4日	物理的要因・公害
13	第7章	生活環境・食品衛生活動	13	7月11日	上水・下水・衣服・住居
14			14	7月18日	食中毒・栄養・廃棄物
15	第8章	母子保健	15	7月25日	母子保健の指標
16	問題演習		16	8月1日	総合問題演習(1)
17			17	8月22日	総合問題演習(2)
18	前期末試験		18	8月29日	前期末試験
19	解答・解説		19	9月5日	解答・解説
20			20	9月12日	前期総括
21	第9章	学校保健	21	9月26日	学校保健
22	第10章	産業保健	22	10月3日	産業保健
23	第11章	成人・高齢者保健	23	10月10日	生活習慣病
24			24	10月17日	高齢者保健・福祉対策
25	第12章	精神保健	25	10月24日	精神保健
26	第13章	地域保険と国際保健	26	10月31日	WHOの業務
27	第14章	衛生行政と保健医療の制度	27	11月7日	保健所の役割
28	第15章	医療倫理	28	11月21日	医療の倫理と安全の確保
29	第16章	疫学	29	11月28日	疫学の方法
30			30	12月5日	調査結果の解釈と評価
31	後期末試験		31	12月12日	後期末試験
32	解答・解説		32	12月19日	解答・解説
33			33	1月9日	後期総括
34			34	1月16日	第1章～第8章まとめ
35			35	1月23日	第9章～第16章まとめ
36	問題演習		36	1月30日	総合問題演習(1)
37			37	2月6日	総合問題演習(2)
38			38	2月13日	総合問題演習(3)
39			39	2月20日	総合問題演習(4)
40			40	2月27日	総合問題演習(5)
合計コマ数			40	※日程は変更されることがあります。	

※日程は変更されることがあります。

講義科目名	柔道整復実技Ⅶ	分野区分	専門分野
担当教員名	金子 充夫(実務経験有り)	講義回数 (コマ数)	40コマ
履修学年	第 3 学 年	履修期間	通 年
講義内容	【授業概要】 ＜上肢、体幹、下肢認定実技＞ 認定実技審査に準じた整復法、固定法、包帯法、検査法を学習する。 ＜柔道整復師に必要な基礎知識＞ 柔道整復師に必要な基礎知識の復習を行う。 【授業内容】 ＜上肢、体幹認定実技：診察検査および整復＞ 定型的鎖骨骨折、上腕骨外科頸外転型骨折、コーレス骨折、肩鎖関節脱臼 肩関節烏口下脱臼、肘関節後方脱臼、肘内障、腱板損傷、上腕二頭筋長頭腱炎 ＜上肢、体幹の認定実技：固定＞ 定型的鎖骨骨折、上腕骨骨幹部骨折、コーレス骨折、第5指中手骨頸部骨折、肋骨骨折、 肩鎖関節上方脱臼、肩関節烏口下脱臼、肘関節後方脱臼、手第2指PIP関節背側脱臼 ＜下肢の認定実技：診察検査法＞ ハムストリングス損傷、大腿四頭筋打撲、膝関節側副靱帯損傷、膝関節十字靱帯損傷 膝関節半月板損傷、下腿三頭筋損傷、足関節捻挫 ＜下肢の認定実技：固定＞ 足関節テーピング(バスケットウィーブ、フィギュアエイトとヒールロック)、アキレス腱断裂のクラーメル固定、 下腿骨幹部骨折のクラーメル固定、膝関節テーピング、足関節厚紙副子固定 ＜柔道整復師に必要な基礎知識＞ 要点、まとめの学習。練習問題等を行う。		
評価	筆記試験と実技試験で各期末の評価とする。 出席状況、授業態度、小テストなどは年度末の総合評価の時点で加味することがある。		
備考	授業時の服装・身だしなみ等は「学生便覧」に準じる。 「神経血管損傷の有無の確認」の練習のためすぐに裸足になれるような状態にいること。 包帯・ホワイトテープを使用するので、いつでも使えるように準備しておくこと。		
参考書等	配布プリントでの授業 柔道整復学理論編、柔道整復学実技編		

第 3 学 年 科 目 (柔道整復実技Ⅶ) 担 当 (金子 充夫)

		実 技 概 要	コマ数	日 付	実 技 内 容
前期	1	上肢の骨折の診察整復	1	4月11日	定型的鎖骨骨折、上腕骨外科頸外転型骨折
	2	上肢の脱臼の診察整復	2	4月18日	コレス骨折、肩鎖関節脱臼
	3	"	3	4月25日	肩関節烏口下脱臼、肘関節後方脱臼
	4	上肢の軟部組織損傷の診察検査法	4	5月9日	肘内障、腱板損傷、上腕二頭筋長頭腱炎
	5	上肢の骨折の固定	5	5月16日	定型的鎖骨骨折、上腕骨骨幹部骨折
	6	"	6	5月23日	コレス骨折、第5指中手骨頸部骨折、肋骨骨折
	7	上肢の脱臼の固定	7	5月30日	肩鎖関節上方脱臼、肩関節烏口下脱臼
	8	"	8	6月6日	肘関節後方脱臼、手第2指PIP関節背側脱臼
	9	下肢の軟部組織損傷の診察検査法	9	6月13日	ハムストリングス損傷、大腿四頭筋打撲、膝関節側副靱帯損傷
	10	"	10	6月20日	膝関節十字靱帯損傷、膝関節半月板損傷
	11	下肢の軟部組織損傷の固定	11	6月27日	下腿三頭筋損傷、足関節捻挫、膝関節テーピング、足関節厚紙副子固定
	12	"	12	7月4日	足関節テーピング(バスケットウィーブ、フィギュアエイトとヒールロック)
	13	"	13	7月11日	アキレス腱断裂のクラマーメル固定、下腿骨幹部骨折のクラマーメル固定
	14	前期末試験	14	7月18日	前期末試験(実技①)
	15		15	7月25日	前期末試験(実技②)
	16		16	8月1日	前期末試験(実技③)
	17		17	8月22日	前期末試験(実技④)
	18		18	8月29日	前期末試験(筆記)
後期	19	解答・解説	19	9月5日	解答・解説
	20	認定実技審査に向けての実践練習	20	9月12日	上肢 診察整復①
	21	"	21	9月26日	上肢 診察整復②
	22	"	22	10月3日	上肢 固定①
	23	"	23	10月10日	上肢 固定②
	24	"	24	10月17日	下肢 診察検査法①
	25	"	25	10月24日	下肢 診察検査法②
	26	"	26	10月31日	下肢 固定
	27	柔道整復師に必要な基礎知識	27	11月7日	疾病について
	28	"	28	11月21日	細胞傷害について
	29	"	29	11月28日	循環障害について
	30	"	30	12月5日	病的増殖について
	31	後期末試験	31	12月12日	後期末試験
	32	解答・解説	32	12月19日	解答・解説
	33	柔道整復師に必要な基礎知識	33	1月9日	炎症について
	34	"	34	1月16日	アレルギーについて
	35	"	35	1月23日	腫瘍について
	36	"	36	1月30日	診察について
	37	"	37	2月6日	医療面接について
	38	"	38	2月13日	視診について
	39	"	39	2月20日	触診について
	40	"	40	2月27日	反射検査について
合計コマ数			40	※日程は変更されることがあります。	

講義科目名	演習Ⅲ	分野区分	応用分野
担当教員名	福田 泰昌	講義回数 (コマ数)	25コマ
履修学年	第 3 学 年	履修期間	通 年
講義内容	柔道整復師にとって必要となる事項を知識としてしっかりと備えているかの総確認を行う。		
評価	筆記試験にて評価を行う。 出席状況、授業態度などは年度末の総合評価の時点で加味することがある。		
備考			
参考書等	1年生・2年生・3年生での各授業で使用した教科書、配布された資料		

第 3 学 年							科 目 (演 習 Ⅲ)		担 当 (福 田 泰 昌)	
	週	編	章		コマ数	日 付	内 容			
前期					1	4月4日	演習を受講するうえでの心構えを学ぶ			
					2	4月4日	演習を受講するうえでの心構えを学ぶ			
					3	4月4日	演習を受講するうえでの心構えを学ぶ			
					4	6月8日	1・2年次で学んだ解剖学・生理学・生化学・柔道整復学の知識の確認			
					5	6月8日	1・2年次で学んだ解剖学・生理学・生化学・柔道整復学の知識の確認			
後期					6	11月16日	1・2・3年次で履修した内容の知識の確認			
					7	11月16日	1・2・3年次で履修した内容の知識の確認			
					8	11月16日	1・2・3年次で履修した内容の知識の確認			
					9	11月16日	1・2・3年次で履修した内容の知識の確認			
					10	11月29日	実力判定試験①			
				期末試験	11	11月29日	実力判定試験①			
				期末試験	12	11月29日	実力判定試験①			
				期末試験	13	11月29日	実力判定試験①			
					14	12月21日	1・2・3年次で履修した内容の知識の確認			
					15	12月21日	1・2・3年次で履修した内容の知識の確認			
					16	12月21日	1・2・3年次で履修した内容の知識の確認			
					17	12月21日	1・2・3年次で履修した内容の知識の確認			
					18	1月11日	実力判定試験②			
				期末試験	19	1月11日	実力判定試験②			
				期末試験	20	1月11日	実力判定試験②			
				期末試験	21	1月11日	実力判定試験②			
					22	2月8日	1・2・3年次で履修した内容の知識の確認			
					23	2月8日	1・2・3年次で履修した内容の知識の確認			
					24	2月8日	1・2・3年次で履修した内容の知識の確認			
					25	2月8日	1・2・3年次で履修した内容の知識の確認			
合計コマ数					25	※日程は変更されることがあります。				